



鳥取市男女共同参画
シンボルマーク

鳥取市男女共同参画センター機関紙
(編集:公募した市民編集委員/発行:鳥取市男女共同参画センター)

き

輝なんせ鳥取

2011.1
第15号



—目次—

- 女と男のハーモニーフェスタ …… 2
- 男女共同参画標語 …… 3
- 登録団体紹介
「グランマ倶楽部」 …… 4
- 「輝なんせ鳥取」啓発講座 …… 4
- 訪問取材“おじゃましま～す”
「株式会社 鳥取銀行」 …… 5
- インタビュー
NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会
副理事 佐々木 千代子さん …… 6

第一八回 ひとひと 女と男とのハーモニーフェスタ



～いっしょにやろうよ! 仕事も 家庭も 子育ても 2010～



竹内功市長による開会あいさつ

平成 22 年 9 月 25 日の土曜日、第 18 回女と男とのハーモニーフェスタがにぎやかに開催されました。

当日はアナウンサーの笠井信輔さんの講演をはじめ、登録団体による展示・即売、男女共同参画標語・小学生オリジナルマイバッグコンテストの受賞作発表・表彰、823band のステージなど、内容は盛りだくさん。

訪れた皆さんは展示や即売、そば打ち体験を楽しんだり、笠井さんの講演に聞き入ったりとハーモニーフェスタを存分に楽しんでいらしゃいました。



来客でにぎわう 展示・即売体験スペース



823band の見事なステージ



男女共同参画の標語 受賞者表彰

笠井信輔さん講演 『息子3人 アナウンサー・記者夫婦奮闘物語』

今年の講演は、アナウンサーの笠井信輔さんがおいでくださいました。編集委員が、講演をお聴きした感想をお届けします。

笠井信輔アナウンサー『息子三人アナウンサー記者夫婦奮闘物語』を拝聴して。報道局の茅原ますみさんと結婚され、結婚四年目に待望の長男誕生、妻より頼まれ出産に立ち会う!! 女性のアナウンサーは気が強いとの事・・・(冗談かな・・・)次男の時も当然出産に立ち会ってくれるでしょうね!! と妻から頼まれ、上司からはいい顔はされなかったが次男、三男の出産も立ち会われたとの事。

家族一丸となり、出来ることは共同参画で協力しあって見つめ合っていくとの事。夫は子育てで支援でなくて、自ら「産湯もお父さんが入れるのよ、おむつも妻と一緒に換えようね!!」

ユーモアあり、笑いあり、共同参画にふさわしい家族の絆でしっかり結ばれていた楽しい講演でした。(出村)



鳥取市男女共同参画標語



鳥取市では『男女共同参画都市鳥取』を高らかに宣言するなど『男女共同参画』を重要施策として取り組んでいます。皆さんも、この標語を通して、学校、職場、地域、家庭から男女共同参画について考えてみませんか。

一般の部 最優秀賞

伝えてね あなたの気持ち 尋ねてね わたしの思い

福寿みどりさん

小中学生の部 最優秀賞

男女みな ちがいはあるが おもしろい 一人一人がすてきな個性

岸本明莉さん

一般の部

優秀賞

- ◎共同参画で つながる 広がる 人の和 地域の輪
- ◎私らしく あなたらしく みんなで参画 いきいき社会

入賞

- ◎人と人つなぐ絆と思いやり。明日へ繋ごう明るい未来。
- ◎めざす世界はオンラインワン 創り出そう みんなの個性を 見出す社会
- ◎持ち味を 発揮できる いい社会 築いていこう 共同参画
- ◎大切なものがあるから分かち合おう 今日もふたりで共同参画

小中学生の部

優秀賞

- ◎認め合い能力生かせるいい社会 そんな未来をぼくらで作ろう
- ◎参画であふれる笑顔が明日へのキップ

入賞

- ◎男子女子 関係ないよ だれだって すてきな力 みんな持ってる
- ◎男子女子 個性や能力出し合って 作っていこう すてきな未来
- ◎みんなといるとわたしは笑顔になれる それがしあわせ
- ◎わが家では 家事と「コ」ロを シェアリング

輝なんせ鳥取 講座受講つれづれ記



講座名 DV防止セミナー
 『～今、私たちができること～
 女性に対する暴力の実態と支援について』
 講師 ウィメンズカウンセリング京都
 フェミニストカウンセラー 周藤 由美子さん
 受講日 平成22年10月12日(火曜日)



～ストップDV～

民間のカウンセリングに15年間就いていらしゃったので、講師の周藤さんの話は具体的で分かりやすいお話でした。

夫や恋人から暴力(身体的・精神的・性的)を受けたことがあるのは女性の約1/3、その半数はだれにも相談できずにいるそうです。また、別れた後の経済的不安などを抱え、DVを受けた女性は別れられないままで、精神や肉体にダメージを受けているということでした。

また、子どものダメージはもっと深いとのこと。暴力をふるわれた人は誰に助けを求めたらよいか、常識としてみんなが知っている世の中になって、「暴力を振るう側が100%悪い」という考え方が社会通念になれば、周りももっと助けようという気になると思いました。

終了後の質問会のおり、DVを受けた女性に対し、以前より警察が対応できるようになったという話をお聞きし、ほっとしました。(岸本)

登録団体紹介

「とっとりグランマ倶楽部」

とっとりグランマ倶楽部は平成20年にスタートし、明治大学・鳥取大学・鳥取県連携事業で様々な講義を受講し、約80名が修了しました。

今年は三期としてワークライフバランスをテーマに鳥大で講座が行われました。

私達は一期・二期の修了生のうち、約40名で結成している団体で、講座で学んだことを生かし、子育て支援・高齢者支援・食・朗読等、グループ又は個人で活動しています。中には受講後NPOを立ち上げ、公民館運営をしている会員もいます。

今年4月に市の男女共同参画登録団体となり、「第18回女と男とのハーモニーフェスタ」でもパネル展示し活動を紹介しました。

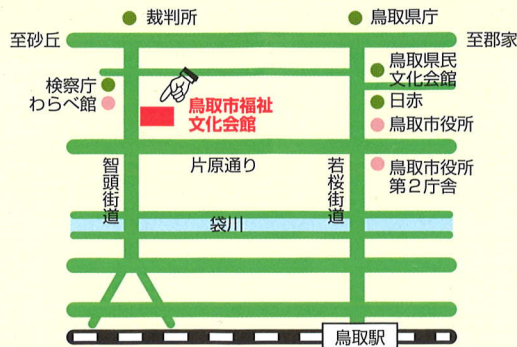
これからも活動を通して地域貢献していきたいと思えます。

男女共同参画センター 「輝なんせ鳥取」 のご案内

鳥取市男女共同参画センター「輝なんせ鳥取」では男女共同参画に関する各種講座や研修会を開催しています。また、図書・ビデオの貸し出し、閲覧ができます。

女性なんでも相談(法律・一般)は予約制となっておりますので、事前に電話(24-2704)でご連絡ください。

「輝なんせ鳥取」は福祉文化会館の3階にあります。



訪問取材 “おじゃましま〜す”



今回は“株式会社 鳥取銀行”を訪問しました

Q 鳥取銀行の育児休業制度について、特徴はありますか？

A 育児休業法の改正に基づくものですが、休業期間は父母ともに取得の場合は1年2カ月、特定の場合は1年6ヶ月まで取得できます。

Q 育児休業等は他にどのような形で対応されますか？

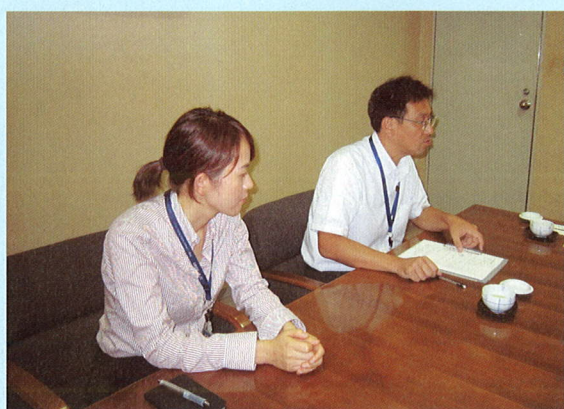
A 2年前から半日休暇の制度を設けました。午前か午後の有給休暇です。その他、子の看護休暇も法改正によって再整備しました。また、現在3歳未満の子供さんのいらっしゃる方の短時間勤務も実施しています。

Q 男性の方は取っておられますか？

A 男性の方で1年の育児休暇取得者は今までありませんが、半日の休暇を取って運動会・参観日・入学式等に参加しています。

Q 男性の育児参加について啓発活動はどのようにされていますか？

A これまでに講師の方を招いて、セミナーを開催するなど男性向けの講演なども行いました。



取材風景
右より 加納調査役・米村さん

Q 育児休業を取られた方が職場に復帰される時に何か工夫されていますか？

A 復帰される日程が近くなった方を対象に復帰前の研修を設け、職場環境に復帰しやすいように勤めています。



株式会社 鳥取銀行 本店
所在地:鳥取市永楽温泉町171番地

Q 介護休暇についてはどうですか？

A 行員もパートタイマー等も対象として、通算の休業期間を6カ月以内として、積立休暇の使用も可能としています。

Q 女性管理職の方はいらっしゃいますか？

A 当行は行員 719 人のうち男性 498 人・女性 221 人です。(H22年3月末) 女性の役員者は女性行員のうち約2割程度になりますが、現在2名の方には支店長として営業現場でご活躍いただいています。

Q 管理職への育成はどのような形で進められていますか？

A 職場での意思疎通が図られるように、年間複数回にわたって管理職と所属の行員が面談する機会を設けています。また、部下の育成のためには管理職の意識向上が重要であると捉えており、管理職を対象とした各種研修の機会において育成に努めています。

感想

● 今までの“銀行”という固いイメージが変わり、お客様を大切にされるように行員の方も大切にされているのだと感じました。

インタビュー ^{ひと}女と男 ^{ひと}

いんしゅう鹿野まちづくり協議会
副理事長 佐々木 千代子さん



取材風景 佐々木さん(右端)

鹿野町では「祭りの似合うまち」をめざして、平成6年度から街なみ環境整備事業に取り組み始め、平成8年度から公的空間である道路、水路の縁石、石橋、石行灯などを整備してきました。この行政による活動に住民も刺激を受け、住民も立ち上がろうと、「いんしゅう鹿野まちづくり協議会」を平成13年10月に設立されました。

今回は協議会の副会長をされている佐々木さんにお話をお伺いしました。

まず、鹿野町に入ってゴミのないのにびっくり!! 町民が自分たちで自然にごみを拾うとか…。

協議会は、会員数約40人(ほぼ町内)応援団会員数約80人(町民、鹿野町出身者他)で運営され、主な構成メンバーはサラリーマングループ「セクションドリーム」を中心に、ちょうちんや菅笠などの職人グループ「匠の会」、盆踊り実行委員会やボランティアの方で、地域の方々の支援を受けなが

ら、まちづくりに取り組んでおられます。

四季折々の風景が見られる自分たちの街を、「少しでもよくしたい、ただそれだけの気持ちからはじめたのですよ」と笑顔で言われました。そして、佐々木さんは「誰かが背中を押してあげれば変わる」とも。

今日までの取り組みとして、昔懐かしい土間のある「ゆめ本陣」・テレビ取材もあった、菅笠弁当の「夢こみち」・鹿野城址がゆったりと眺められるカフェ「しかの心」など空家の利用に加え、旧城下町の表玄関には藍染め暖簾・不要になった火鉢ではめだかの飼育・醤油瓶では山野草の植え付けなど街並みの景観は、ホッとできる空間でした。

今では、夏になると帰省者も同窓会のように祭りを楽しみ、それを見ている子どもたちが、“自分の町が好き”と言い、町民アンケートによると85%は街並み整備がよくなったと回答されています。

鹿野町の取り組みを聞けば、聞くほどすばらしい取り組みで感動しました。(出村)

編集後記

アナウンサー笠井さんの講演は、優に男女共同参画にふさわしい講演でした。また、鹿野まちづくり協議会の取り組みにも感銘を受けました。

お二人のお話をお聞きすることができたのは、編集委員としてとても光栄でした。(出村)

鳥取銀行の取材では、育児休暇を取られた方が職場復帰しやすいように研修をしたり、管理職と若手行員がお互い理解し合えるように工夫したりするなど、様々な角度からの人作りに工夫されていることがよく理解しました。(岸本)

●輝なんせ鳥取●
鳥取市男女共同参画センター

〒680-0022 鳥取県鳥取市西町2丁目311

TEL(0857)24-2704

FAX(0857)20-3054

E-mail danjyo@city.tottori.lg.jp

U R L http://www.city.tottori.lg.jp